

当初 予算案

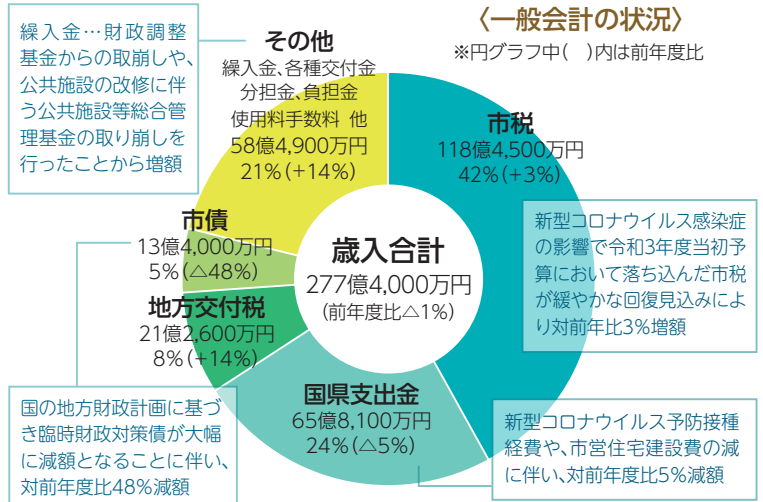
問 財政課 ☎内線1221

〈令和4年度各会計予算〉

一般会計	277億4,000万円
特別会計	160億2,000万円
企業会計	25億7,000万円
合計	463億3,000万円

〈一般会計の状況〉

※円グラフ中()内は前年度比



令和4年度重要施策

7つの政策分野

健康・医療・福祉 1

● 子ども家庭総合支援拠点を設置する

新規

2193万6千円

(担当/保健福祉部)

子どもとその家庭および妊産婦等を対象に、子どもに関する相談全般から専門的な相談対応および継続的な支援を行う機能を担う拠点を設置します。また、母子保健の相談機関である子育て世代包括支援センター「すまいる」とのより一層の連携強化を推進し、包括的な支援体制の構築を図ります。



教育・文化 2

● スポーツイベントを支援する

新規

150万円

(担当/教育委員会)

子どもたちの運動能力向上ならびに市民に対してプロスポーツに親しむ機会のある提供を目的として、プロ野球イースタンリーグ公式戦とスポーツパークの開催を予定しています。



● おくの義務教育学校一一体型校舎を建設する

継続

6468万円

(担当/教育委員会)

令和2年4月に開校となったおくの義務教育学校について、現在の北校舎(旧奥野小学校)および南校舎(旧牛久第二中学校)の建物等を、一一体型施設として整備するための検討を行い、令和3〜4年度にかけて基本実施設計等を行います。



「笑顔あふれるにぎわいとやすらぎのあるまち」へ

市では、令和3年度に始動した「牛久市第4次総合計画基本構想」に基づき、市の総合的な行政を進めていくにあたって、左記の7つの政策分野を定め、それぞれの分野の目標実現に向けた政策を展開しています。

令和4年度予算編成にあたっては、新型コロナウイルス感染症の感染状況や国等の動向を注視し、感染拡大の防止を図るとともに、グリーン社会の実現・デジタル化の加速といった、ポストコロナに向けた社会の変化やニーズを的確にとらえ、事業の廃止や新たな事業手法等を踏まえ、見直しを図りながら、市民サービスの低下につながらないよう、各事業の必要性、緊急性、費用対効果を検証した上で、事業採択を行いました。



すべての人が生き生きとした人生を送るまち



● 妊産婦と乳幼児に医療機関検診を実施する
一部新規 5764万6千円
(担当/保健福祉部)

● 乳幼児集団健診を実施する
一部新規 852万2千円
(担当/保健福祉部)

妊産婦や乳幼児への健診等を実施しています。令和4年度からは、新生児聴覚検査への助成と、3歳児集団健診での屈折・眼位検査を開始します。

● 予防接種を実施する

拡充 3億1704万3千円
(担当/保健福祉部)

予防接種法に基づいて各種予防接種を実施します。予防接種を実施することで、感染症の罹患と重症化を予防します。

令和4年度はこれまでの予防接種に加え、子宮頸がんワクチン接種の積極的勧奨が再開となったことにより、定期接種対象者および積極的勧奨を控えていた期間の対象者分も含めて予算計上しています。

● 介護予防と保健事業を一体的に実施する
拡充 74万3千円
(担当/保健福祉部)

これまでも取り組んでいた医療・介護・保健分野で連携し、糖尿病予防については75歳以上も含めるよう対象を拡大、フレイル予防については対象者の健康づくりに寄与し、医療・

介護の抑制や、健康的な地域づくりを目指します。



魅力ある「しごと」とにぎわいが生まれるまち

しごと 3

未来を拓き、地域を担う人が育つまち

● 生涯学習講座を開催する

拡充 739万3千円
(担当/教育委員会)

市民の生涯学習活動を支援するため、さまざまな分野の市民向け講座の企画運営をしています。令和4年度は、これまで開催していた対面の講座に加え、新たにオンラインでの講座を開催します。



● わくわく茨城生活実現事業を実施する

拡充 767万6千円
(担当/経営企画部)

県の補助金を活用した移住支援補助金について、令和3年度からは就労条件でテレワークが該当になるなど、対象者の要件が拡充されています。令和4年度からはさらに、該当世帯に18歳未満の者がいる場合、補助金を上乘せします。

● 農業や漁業団体等の活動を支援する

一部新規 4147万8千円
(担当/環境経済部)

市内農業の活性化を図るため、関連団体や生産者への活動費等の補助を行います。令和4年度はこれまでの補助に加え、国の補助金を活用した経営継承に対する補助金を計上しています。また、牛久市農業振興地域計画の策定を行います。

みんなの創意工夫で未来をつくるまち

市民共創 4

● コミュニティ活動を助成する

一部新規 3204万2千円
(担当/市民部)

行政区集会所を、年間3分の2以上無償で開放し、地域の人たちの「たまり場」として活用している行政区に対して、運営費に対する補助を行い、地域コミュニティ活動の活性化を図ります。



たまり場の様子(かわはら台) ※令和元年撮影

令和4年度については、現在、コロナ禍で停滞している行政区活動が、以前のように活発な活動を再開するための助力として、行政区活動経費の一部を補助します。

● 行政区集会所施設の整備や管理に対する助成をする

継続 2231万6千円
(担当/市民部)

行政区活動の拠点となる集会所施設の整備・管理にかかる経費の一部を補助することで、行政区の負担軽減と施設整備を促進し、円滑な行政区活動の推進と充実に努めます。

令和4年度の主なものとして、東岡見区民会館の

建替えをはじめ、中柏田区公会堂の屋根・外壁塗装等に対する補助金を予算計上しています。



さくら台区民会館

次ページへ続く

生活基盤 5

● リフレを維持管理する

一部新規 8990万6千円

(担当/総務部)

牛久市ではこれまで身近で便利な出張所としてエスカード出張所、奥野出張所、三日月橋出張所を整備し行政サービスを提供してきました。令和4年度に、さらなる行政サービスの充実を図るため、ひたち野うしく地区の中心であるひたち野リフレの2階に、(仮称)ひたち野リフレ市民プラザを開設します。また、5階には市役所事務所を整備し、(仮称)ひたち野リフレ市民プラザとの連携を図ります。



ひたち野リフレ

● 駅周辺環境を適正に管理する

一部新規 1852万7千円

(担当/建設部)



牛久駅西口

市の中心部である駅周辺が快適・安全に利用できるよう、利便性の向上を図ります。令和4年度は牛久駅西口駅前広場にトイレを整備するための実施設計を行います。

行政運営 7

● 地球温暖化対策を推進する

継続 327万8千円

(担当/環境経済部)

牛久市は2020年7月に、2050年までに地球温暖化の原因となる二酸化炭素の実質排出量ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を表明しました。令和3年度に改定した「環境基本計画」と「牛久市地球温暖化対策実行計画」に基づき、市民・事業者・行政の連携・協働のもと、ゼロカーボンシティの実現に向けさまざまな取り組みを実施します。本事業では引き続き、二酸化炭素排出量の削減に特に効果がある家庭用燃料電池システム(エネファーム)および再生可能エネルギーの地産地消につながる定置用リチウムイオン蓄電システムの設備設置に対して補助を行います。



● 保健センターを改修する

一部新規 2200万円

(担当/保健福祉部)



保健センター

保健センターを常に良好な状態で利用できるように、老朽化した設備等をリニューアルします。令和4年度はエレベーター更新工事を実施します。

環境 6

豊かな自然を守り育てる優しさのあるまち

行政が市民に信頼されているまち

● リサイクルプラザを維持管理する

一部新規 9129万6千円

(担当/環境経済部)

牛久クリーンセンターリサイクルプラザを常に良好な状態で利用できるように、維持管理・運営を行っています。令和4年度は、長寿命化計画の策定および、老朽化した空調設備の更新工事を行います。



牛久クリーンセンターリサイクルプラザ

● 図書館施設を改修する

一部新規 7756万9千円

(担当/教育委員会)



中央図書館

平成4年度に建設された中央図書館について、長寿命化計画に基づき、令和4年度はエレベーター2基および非常用放送設備の更新工事を実施します。

令和4年度当初予算案
詳細は市ホームページを
ご覧ください

